専門試験

養護教諭

（７０分）

【注意事項】

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この問題冊子は、30ページあります。

3　試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

4　監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に、以下の内容を記入しなさい。正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。

（1）選考区分欄に、一般選考志望者は１、特別選考（Ｉ）（障がい者特別選考）志望者は２と記入しなさい。

（2）受験番号欄に、受験番号を記入しなさい。

5　解答用紙の※印の欄及び余白には、何も記入してはいけません。

6　解答は、解答用紙の解答欄に丁寧に記入しなさい。解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから記入しなさい。数字が読み取れない場合は、採点できません。

7　試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

【1】学校保健に関する法規について、次の（1）～（4）の問いに答えよ。

（1）学校保健安全法の以下の条文について、（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６のうちから一つ選べ。

第十条　学校においては、救急処置、健康相談又は保健指導を行うに当たつては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の（　①　）その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

第十七条　健康診断の方法及び技術的基準については、文部科学省令で定める。

３　前二項の文部科学省令は、（　②　）（平成十四年法律第百三号）第九条第一項に規定する健康診査等指針と調和が保たれたものでなければならない。

第十八条　学校の設置者は、この法律の規定による健康診断を行おうとする場合その他政令で定める場合においては、（　③　）と連絡するものとする。

第二十二条　都道府県の教育委員会の事務局に、（　④　）を置くことができる。

第二十三条　学校には、（　⑤　）を置くものとする。

1　①　医療機関　②　健康増進法　③　保健所　④　学校保健技師　⑤　学校医

2　①　教育委員会　②　地域保健法　③　保健所　④　保健師　⑤　保健主事

3　①　医療機関　②　健康増進法　③　児童相談所　④　保健師　⑤　保健主事

4　①　教育委員会　②　地域保健法　③　保健所　④　学校保健技師　⑤　学校医

5　①　医療機関　②　地域保健法　③　児童相談所　④　保健師　⑤　学校医

6　①　教育委員会　②　健康増進法　③　児童相談所　④　学校保健技師　⑤　保健主事

（2）学校保健安全法第五条について、（　　）に入る最も適切なものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

第五条　学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、（　　）、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

1　健康相談
2　健康観察
3　救急処置
4　環境衛生検査
5　学校保健委員会

（3）学校保健安全法施行規則第十八条について、（　　）に入る最も適切なものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

第十八条　学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。
二　第三種（　　）、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

1　感染性胃腸炎
2　痘そう
3　ペスト
4　ジフテリア
5　コレラ

（4）学校保健安全法施行規則第十九条に示されている出席停止の期間の基準に関する記述の一部である。①～⑤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

①　インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日（幼児にあつては、三日）を経過するまで。
②　流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
③　麻しんにあつては、主要症状が消退した後二日を経過するまで。
④　新型コロナウイルス感染症にあつては、発症した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日を経過するまで。
⑤　結核、髄膜炎菌性髄膜炎及び第三種の感染症にかかつた者については、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

1　①、②、③
2　①、②、⑤
3　①、③、④
4　②、③、④
5　②、④、⑤
6　③、④、⑤

【2】救急処置、危機管理について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「救急蘇生法の指針2020（市民用）」（日本救急医療財団心肺蘇生法委員会）の「Ⅲ 救命の連鎖と市民の役割」および「Ⅳ 突然の心停止を防ぐために」に関する記述の一部である。①～⑥について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 心筋を救うことのできる効果が大きいのは急性心筋梗塞を起こしてから２時間以内とされている。
② 心臓が止まると数分あまりで意識が消失し、そのままの状態が続くと脳の回復は困難となる。
③ 急性心筋梗塞の典型的な症状は、手足に力が入らない、しびれるなどである。
④ 健康な小児でも、球技中のボールや空手による胸部打撲で心臓震盪が生じ突然の心停止に至ることもある。
⑤ 胸骨圧迫は、傷病者の胸が約５cm沈み込むように強く、速く、絶え間なく圧迫する。
⑥ 胸骨圧迫のテンポは１分間に80～100回である。

1 ①、②、③
2 ①、③、⑥
3 ①、④、⑤
4 ②、④、⑥
5 ②、⑤、⑥
6 ③、④、⑤

（2）「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－」（令和２年度改訂 日本学校保健会）の「第２章 調査結果から見た学校保健の課題とその対応 Ⅱ 保健管理 1 救急処置 （8）校内研修企画・実施例及び救急処置に関する取組例」における③AEDの設置と管理に関する記述ア～オについて、誤っているものはいくつあるか。下の１～５のうちから一つ選べ。

ア AEDの設置に当たっては、目立つ場所、使われる可能性の高い場所からのアクセスを意識する必要がある。
イ AEDが近くにない場所で開催される心停止発生リスクの高い行事にはAEDを移動して準備するなどの工夫も求められる。
ウ いざという時に、AEDが機能するよう、管理者は定めずに適切な管理を怠らないことが重要である。
エ AEDには、正常に動くかどうかを示すためのインジケーターが付いているので、日常点検する際には、インジケーターの表示を確認し、記録しておく。
オ 電極パッドやバッテリーには使用期限や寿命がある。これらの消耗品の交換時期が分かるよう表示ラベルを付け、使用期限が来たら交換する。

1 なし
2 1つ
3 2つ
4 3つ
5 4つ

（3）「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン要約版」（平成27年２月　文部科学省　日本学校保健会）の「３　緊急時の対応」に関する記述の一部である。①～⑤の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 緊急性が高いアレルギー症状があるか、５分以内に判断する。
② 「我慢できない腹痛」や「繰り返し吐き続ける」症状は、緊急性が高いアレルギー症状に含まれる。
③ 緊急性が高いアレルギー症状が二つ以上あれば、救急車を要請する。
④ 反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う。その際AEDは使用しない。
⑤ 緊急性が高いアレルギー症状があってもエピペン®を使用しない。

1　①　正　②　正　③　正　④　誤　⑤　正
2　①　誤　②　正　③　正　④　正　⑤　誤
3　①　正　②　誤　③　正　④　正　⑤　誤
4　①　誤　②　誤　③　誤　④　誤　⑤　正
5　①　誤　②　誤　③　誤　④　正　⑤　正
6　①　正　②　正　③　誤　④　誤　⑤　誤

【3】児童生徒等の健康診断について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

（1）「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂　日本学校保健会）の「第１章　児童、生徒、学生及び幼児の健康診断の実施　５　方法及び技術的基準　13尿」に示されている検査の実際における方法に関する記述である。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６のうちから一つ選べ。

方法

尿は、尿中の蛋白、糖等について試験紙により検査する。

1　正しい採尿は、就寝前に排尿をさせ、翌朝一番尿を少し排尿してから中間尿を10ml程度採尿する。
2　女子で採尿日が生理日及びその前後（　①　）であれば、別の日に採尿させて検査する。
3　学校では、直射日光を避け、風通しの良い場所に検体を集める。
4　蛋白尿は６～12時間後に（　②　）することがあるので、検査は採尿した当日（採尿後５時間以内）に完了することが望ましい。
＊尿の（　③　）反応を陰性化するおそれのあるビタミンCを添加したお茶やウーロン茶、ビタミンCの含有量の多いジュースや薬剤は飲まないように指導する
5　１次検尿を行い、陽性と判断された児童生徒等に通知して２次検尿を、早朝一番尿の中間尿を用いて試験紙法、スルホサリチル酸法、（　④　）による検査を行う。
6　２次検尿で（+）の陽性者に（　⑤　）を行う。

1　①　３～４日　②　陽転　③　潜血　④　煮沸法　⑤　尿細管機能検査
2　①　１～２日　②　陰転　③　蛋白　④　尿蛋白定性法　⑤　尿細管機能検査
3　①　１～２日　②　陰転　③　潜血　④　煮沸法　⑤　尿沈渣
4　①　３～４日　②　陽転　③　蛋白　④　尿蛋白定性法　⑤　尿細管機能検査
5　①　１～２日　②　陽転　③　蛋白　④　煮沸法　⑤　尿沈渣
6　①　３～４日　②　陰転　③　潜血　④　尿蛋白定性法　⑤　尿沈渣

（2）「学校保健安全法施行規則の一部改正等について（通知）」（平成26年４月30日　文部科学省）に示されている「Ⅱ　改正の概要」に関する記述の一部である。下線部①～⑤の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○児童生徒等の健康診断

検査の項目並びに方法及び技術的基準（第６条及び第７条関係）

・①貧血の有無の検査について、必須項目から削除すること。

・「四肢の状態」を必須項目として加えるとともに、四肢の状態を検査する際は、②四肢の形態及び発育並びに運動器の機能の状態に注意することを規定すること。

○保健調査（第11条関係）

学校医・学校歯科医がより効果的に健康診断を行うため、保健調査の実施時期を、小学校入学時及び必要と認めるときから、小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校においては③全学年（中等教育学校及び特別支援学校の小学部、中学部、高等部を含む。）において、④幼稚園及び大学においては入学時とすること。

○就学時健康診断（第一号様式関係）

予防接種法の一部を改正する法律（平成25年法律第８号）が平成25年４月１日より施行されたことを受けて、第一号様式（就学時健康診断票）の予防接種の欄に、Hib感染症と⑤日本脳炎の予防接種を加えたこと。

1　①　誤　②　正　③　正　④　誤　⑤　誤
2　①　正　②　誤　③　誤　④　誤　⑤　正
3　①　正　②　正　③　正　④　正　⑤　誤
4　①　誤　②　正　③　誤　④　正　⑤　正
5　①　誤　②　誤　③　正　④　誤　⑤　正
6　①　正　②　誤　③　誤　④　正　⑤　誤

【4】健康観察について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

（1）「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成21年　文部科学省）の「第６章　主な疾患等の解説　1　主な身体疾患等」に関する記述である。下線部①～⑤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○感冒（かぜ）などで熱があるとき、しばしば「頭が痛い」と訴える。一時的な頭痛は休息をとるなど一般的な対処でよいが、ときには慢性的に頭痛を訴える場合もある。片頭痛、緊張型頭痛などの慢性頭痛のほかに、髄膜炎、①脳腫瘍などの頭蓋内の脳に関連する病気や、副鼻腔炎、眼の疾患、三叉神経（顔の知覚神経の神経痛）痛など、脳以外の頭部の病気も考えられる。

○頭が痛いという訴えのほかに、発熱、おう吐、けいれん、②行動の異常などが伴うか注意して観察する。

○腹痛も子どもによくみられる訴えである。多くの場合、ウイルスや細菌による胃腸炎が原因で、発熱や下痢、おう吐を伴いやすい。③細菌性胃腸炎は地域流行することが多いので、その情報も参考になる。

○胃腸炎のほかに、虫垂炎など腹部の臓器の炎症や消化性潰瘍（胃潰瘍や十二指腸潰瘍）、や膀胱炎などの腎臓や膀胱の病気、月経困難症、④アレルギー性紫斑病（皮下出血、腹痛、関節痛、腎障害を起こす）など、腹痛を起こす身体疾患の種類は多い。

○不自然なほど頻回の排尿を認めるとき、水分を飲む量や尿量に注目する。尿量が多いとき（多尿）は糖尿病、尿崩症（ホルモンの異常で尿の量が多くなる）が、尿量が正常のときには膀胱炎が考えられる。心因性の頻尿は通常、⑤中学生から高校生に多い。

1　①、②、③
2　①、③、⑤
3　①、④、⑤
4　①、②、④
5　②、③、④
6　②、④、⑤

（2）「学校における子供の心のケアーサインを見逃さないために－」（平成26年３月　文部科学省）の「(3) 災害発生後の中長期における健康観察のポイント　①ライフステージによる違い」に示されている記述①～⑤のうち、「被災時、小学生だった子供への対応」に関する記述として、適切なものはいくつあるか。下の１～５のうちから一つ選べ。

① 「未曾有の出来事」であったことを理解した上でトラウマ体験に向かい合っています。
② 「もっとこうしていればよかった」「自分が悪い子だったから○○さんが死んでしまった」などという考え、これを（サバイバーズ・ギルト：Survivor's guilt）というが、こうした考えを抱きやすいのもこの年代であると言えます。
③ 「姉が助からなかったのは～の助けが遅れたせいだ」などのように、トラウマに対する反応が身の回りの人への攻撃性という形をとる場合も少なくありません。
④ この時期に被災した子供たちは、その後成長、発達するにつれて、自らの体験の意味を理解して衝撃の全体像を認識することになります。そのため、数年後、被災した時の怖さを思い出す出来事に遭遇したときに、トラウマが再現する可能性があることを念頭においた健康観察が必要です。
⑤ 心に秘めた罪責感や攻撃性をはじめ、自らの被災体験とどのように向かい合っているかにも配慮した健康観察が必要です。

1　なし
2　1つ
3　2つ
4　3つ
5　4つ

【5】疾病、感染症の管理と予防について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「学校心臓検診の実際－スクリーニングから管理まで－」（令和２年度改訂　日本学校保健会）の「Ⅴ　児童生徒の心臓病　A　児童生徒の心臓病」に関する記述の一部である。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○ もっとも多いのは不整脈である。年長になるにつれて頻度は（　①　）なる。
○ 生まれつきの心臓病である先天性心疾患は、出生1,000人に対して８～10人発症する。もっとも多いのは（　②　）中隔欠損症である。
○ 生後、心臓に問題が生じる後天性心疾患も少なからずみられる。以前はリウマチ性心臓病が多くみられたが、最近ではほとんどみられなくなった。現在もっとも多くみられるのは（　③　）による心臓後遺症である。
○ 心筋疾患は、心臓の筋肉の異常によるもので、拡張型、（　④　）と呼ばれる心臓の本来の機能である血液を送り出す能力が低下する心筋症などがある。
○ （　⑤　）または機能性心雑音と呼ばれる心臓に異常がないにもかかわらず、心雑音を認める例がある。

1	①	低く	②	心房	③	川崎病	④	拘束型
	⑤	無害性心雑音						
2	①	高く	②	心室	③	川崎病	④	拘束型
	⑤	無害性心雑音						
3	①	高く	②	心房	③	川崎病	④	肥大型
	⑤	心奇形						
4	①	低く	②	心室	③	ファロー四徴症	④	肥大型
	⑤	心奇形						
5	①	高く	②	心房	③	ファロー四徴症	④	拘束型
	⑤	心奇形						
6	①	低く	②	心室	③	ファロー四徴症	④	肥大型
	⑤	無害性心雑音						

（2）「学校検尿のすべて」（令和２年度改訂　日本学校保健会）の「第３章　腎臓と子供の腎臓病の特徴　２　子供の腎臓病の主な臨床症状」に関する記述の一部である。下線部①～⑤の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○浮腫（むくみ）

朝起きたときにまぶたに浮腫がみられたり、足の浮腫によって靴や靴下がきゅうくつになったり、急に①体重が増えたりして気づきます。②ネフローゼ症候群や腎臓の機能が低下したときなどにみられます。

○高血圧

急性・慢性糸球体腎炎などのときには血圧が③低くなることがあります。それにともなって頭痛や吐き気、動悸などがみられることがあります。

○肉眼的血尿（眼で見てわかる血尿）

概ね１Lの尿に血液が１mL混ざると④肉眼的血尿になるといわれています。尿の通り道のどこかからの出血や、急性・慢性糸球体腎炎のときにみられます。⑤急性糸球体腎炎の時には、風邪をひいて腎炎の症状が急激に悪くなった時にもみられます。

1　①　正　②　誤　③　誤　④　正　⑤　正
2　①　誤　②　正　③　正　④　誤　⑤　正
3　①　正　②　誤　③　正　④　誤　⑤　誤
4　①　誤　②　正　③　正　④　正　⑤　誤
5　①　正　②　正　③　誤　④　正　⑤　誤
6　①　誤　②　誤　③　誤　④　誤　⑤　正

（3）「学校において予防すべき感染症の解説」（平成30年３月　日本学校保健会）の「Ⅱ学校における感染症への対応」に関する記述の一部である。文中の（　①　）～（　④　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○　糞便・血液・体液・吐物等には感染性病原体が含まれていることが多く、これらに接するときには、素手で扱うことを避け、手袋をすること、必要に応じてマスクやゴーグルをつけること、接した後は手洗いをより丁寧に行うことなどが、感染症予防の基本である。これらを（　①　）という。

○（　②　）は、唾液の水分などでコーティングされた、５μmより大きい粒子（１m程度で落下し空中を浮遊し続けることはない）を介する感染である。

○（　③　）は、病原微生物の数を減らすために用いられる処置法で、感染症を引き起こさない水準にまで病原微生物を殺し減少させる。

○（　④　）は、強力な消毒薬で、環境、器具などに使用できるが、皮膚には使用できない。

1　①　標準予防策　②　飛沫感染　③　消毒　④　消毒用エタノール
2　①　DOTS　②　空気感染　③　消毒　④　消毒用エタノール
3　①　標準予防策　②　飛沫感染　③　消毒　④　次亜塩素酸ナトリウム
4　①　DOTS　②　空気感染　③　滅菌　④　次亜塩素酸ナトリウム
5　①　DOTS　②　飛沫感染　③　滅菌　④　消毒用エタノール
6　①　標準予防策　②　空気感染　③　滅菌　④　次亜塩素酸ナトリウム

【6】「学校環境衛生基準の一部改正について（通知）（令和４年５月）に示されている教室等の環境に係る学校環境衛生基準に関する記述の一部である。誤っているものを、次の１～５のうちから一つ選べ。

1　温度は18℃以上、28℃以下であることが望ましい。

2　パラジクロロベンゼンは100 $\mu g/m^3$以下であること。

3　コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500 ～ 1000lx程度が望ましい。

4　児童生徒等から見て、黒板の外側15°以内の範囲に輝きの強い光源（昼光の場合は窓）がないこと。

5　教室内の等価騒音レベルは、窓を開けているときはLAeq55dB（デシベル）以下であることが望ましい。

【7】保健教育について、次の（1）～（7）の問いに答えよ。

（1）「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」（平成31年３月　文部科学省）の「第３章　保健教育を効果的に進めるために　第２節　教科等横断的視点に立った各教科等の関連を図った指導」に関する記述である。下線部①～④の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

○　運動領域や各教科等との関連をどのように図るかを吟味する際には、子供がさらに意欲的に学習活動を進め、それぞれの教科等の内容をより効果的に身に付けられるよう、教師自身が①教科等横断的に指導する意図を持ち、どのように学習を展開していくのかを考え、計画的、効果的に指導することが重要である。

○　体育科保健領域第５学年「心の健康」で学んだ不安や悩みへの対処として、体育科運動領域②「体ほぐしの運動」で学んだことを関連させて指導したり、第６学年「病気の予防」で全身を使った運動を日常的に行うことが、現在のみならず大人になってからの病気の予防の方法としても重要であることを指導したりするなど、保健領域と③運動領域の関連を図ることで、より効果的に指導する。

○　特別活動の実践化に向けて、より積極的な行動につなげるための根拠となる知識を体育科保健領域の学習で得たり、既習した内容を活用したりする。

○　総合的な学習の時間で自分の生活の中から健康に関する課題を見いだし、課題解決に向けた④探究的な学びの過程で必要な知識を体育科保健領域の学習によって獲得したりする等、テーマに沿った課題解決に向けて、融合しながら進める。

1　①　誤　②　正　③　正　④　正
2　①　誤　②　誤　③　誤　④　誤
3　①　誤　②　正　③　正　④　誤
4　①　正　②　誤　③　誤　④　誤
5　①　正　②　誤　③　誤　④　正
6　①　正　②　正　③　正　④　正

（2）「中学校学習指導要領（平成29年告示）」（平成29年３月　文部科学省）の「第２章　各教科　第７節　保健体育　第２　各学年の目標及び内容〔保健分野〕　１　目標」に関する記述である。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６のうちから一つ選べ。

(1)　個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な（　①　）を身に付けるようにする。
(2)　健康についての（　②　）の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し（　③　）するとともに、（　④　）力を養う。
(3)　生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む（　⑤　）を養う。

1　①　技能　②　自他　③　判断　④　他者に伝える　⑤　態度
2　①　技術　②　自他　③　挑戦　④　他者と対話する　⑤　意欲
3　①　技能　②　社会　③　挑戦　④　他者と対話する　⑤　態度
4　①　技能　②　社会　③　判断　④　他者に伝える　⑤　意欲
5　①　技術　②　社会　③　判断　④　他者と対話する　⑤　態度
6　①　技術　②　自他　③　挑戦　④　他者に伝える　⑤　意欲

（3）「学校歯科保健参考資料『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり」（令和元年度改訂　日本学校保健会）の「第４章　歯・口の保健管理の実際　第４節　歯・口の健康づくりを進める環境づくり　１　基本的な考え方」に関する記述ア～エについて、**誤っているもの**はいくつあるか。下の１～５のうちから一つ選べ。

ア　給食後の歯みがき時間の設定は、それぞれの学校によって事情が異なるが、学校の時程のなかで歯みがきの時間を確保することが大切である。
イ　洗口場は、歯みがきやうがいの実践の場として、子供の心身の発達状況に即した利用しやすいものでなければならない。
ウ　日頃から、保健室や児童・生徒会室に健康コーナーを設け、掲示板などに歯・口の健康に関する資料や情報を掲示したり、ランチルームや図書室、インターネットを活用したりして健康情報が得られるようにし、歯・口の健康づくりに関する学習や啓発に役立つ環境づくりに努める。
エ　歯ブラシの保管は、使用後の水洗いと消毒の徹底や定期的に家庭へ持ち帰らせて取り替えるなどの管理を行い、衛生に十分配慮する。

1　なし
2　1つ
3　2つ
4　3つ
5　4つ

（4）「精神疾患に関する指導参考資料－新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習－」（令和３年３月　日本学校保健会）の「Ⅰ　精神疾患に関する指導の重要性」に関する記述の一部である。①～④の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 精神障害は、身体障害や知的障害とは異なり、さらなる回復の可能性と再発の可能性という疾病としての側面を併せ持つ障害であることに対する理解も欠かせない。
② 精神疾患は早期に治療を開始しても、十分に回復する可能性はない。
③ 多くの精神疾患は、不安、抑うつ気分、不眠、などで始まることが多い。
④ 健康な悩みや不安、憂鬱な気分と、病的な精神症状を区別することは容易である。

1 ① 誤　② 誤　③ 正　④ 正
2 ① 誤　② 誤　③ 誤　④ 誤
3 ① 正　② 正　③ 誤　④ 正
4 ① 正　② 誤　③ 正　④ 誤
5 ① 誤　② 正　③ 誤　④ 誤
6 ① 正　② 正　③ 正　④ 正

（5）「教職員のための指導の手引～ UPDATE ！エイズ・性感染症～」（平成30年３月発行　日本学校保健会）の「４　教職員のためのエイズ及び性感染症に関するQ&A」に示されている梅毒に関する記述の一部である。①～⑤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 梅毒トレポネーマという病原体が病変のある部位（性器、口腔、唇、その他の皮膚）と接触することで、粘膜や傷から血液に入って感染する。
② エイズと比べて感染力は弱い。
③ リンパ腫が腫れたり性器の皮膚に小さく硬い盛り上がり（硬結（こうけつ））ができたり、皮膚に赤い斑点が出るには１年ほどかかる。
④ 女性は特に10代の増加が報告されている。
⑤ 梅毒が増えている理由の一つに、病変は性器に限らないのでコンドームだけでは防げないことがある。

1 ①、②
2 ①、③
3 ③、④
4 ④、⑤
5 ①、⑤
6 ②、④

（7 養教）

（6）「外部講師を活用したがん教育ガイドライン」（平成28年４月　令和３年３月一部改訂　文部科学省）の「第２章　外部講師を活用したがん教育の進め方」に関する記述の一部である。①～⑤の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。
② 小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。
③ 外部講師を活用したがん教育の実施形態は、学年単位での実施のみとする。
④ がんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにする。
⑤ がんにかかるリスクを減らす工夫はあるが、遺伝要因が関与するものなど本人自身で回避できない要因があることを明確に伝えることが必要である。

1　①　正　②　誤　③　正　④　誤　⑤　正
2　①　誤　②　正　③　正　④　正　⑤　誤
3　①　正　②　正　③　誤　④　正　⑤　正
4　①　誤　②　誤　③　正　④　正　⑤　誤
5　①　誤　②　正　③　誤　④　誤　⑤　正
6　①　正　②　誤　③　誤　④　誤　⑤　誤

（7）「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料　小学校編」（令和元年度改訂　日本学校保健会）の「参考資料　教えて！喫煙、飲酒、薬物乱用のこと」に関する記述の一部である。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の１～６から一つ選べ。

○ 体内に入ったアルコールは、肝臓において主にアルコール脱水素酵素（ADH）で（　①　）され、アセトアルデヒドになります。アセトアルデヒドはさらに、主に２型アルデヒド脱水素酵素（ALDH２）で酢酸に（　①　）されます。日本人は遺伝的にこのALDH２がよく働かない人がおり、アセトアルデヒドの分解が遅い人が約40%、アセトアルデヒドが全く分解できない人が約４%いると言われています。このような人は、飲酒後アセトアルデヒドが体内に蓄積し、顔面紅潮、心悸亢進などのいわゆる（　②　）反応を引き起こします。
○ 大麻を乱用すると、記憶や学習能力の低下、知覚を変化させます。乱用を続けることにより（　③　）といって毎日ゴロゴロして何もやる気のない状態や、人格変容、大麻精神病等を引き起こし、社会生活に適応できなくなります。
○ 酒類業団体でつくる自主基準では、ノンアルコール飲料の容器に、（　④　）歳以上を対象としている旨を表示することになっています。
○ 海外の（　⑤　）販売店では（　⑤　）が入った食品が販売されています。（　⑤　）食品の影響が現れるまでに時間がかかるため過剰に摂取してしまう可能性があり危険です。

1　①　分解　②　急性アレルギー　③　シェーグレン症候群　④　20　⑤　コカイン
2　①　酸化　②　フラッシング　③　無動機症候群　④　20　⑤　大麻
3　①　分解　②　フラッシング　③　無動機症候群　④　18　⑤　コカイン
4　①　酸化　②　急性アレルギー　③　シェーグレン症候群　④　18　⑤　コカイン
5　①　分解　②　フラッシング　③　シェーグレン症候群　④　20　⑤　大麻
6　①　酸化　②　急性アレルギー　③　無動機症候群　④　18　⑤　大麻

【8】健康相談、心のケアについて、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引」（令和３年度改訂　令和４年３月　日本学校保健会）の「第３章　学校における健康相談の進め方と支援体制づくり　５　不登校及び保健室登校への対応」に関する記述の一部である。最も適切なものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

1　不登校の背景に何らかの疾患や障害があると考えられる場合、学校医とも相談の上、保護者に受診を勧めるかどうかについて、学級担任と養護教諭とで検討する。
2　本人の様子や不登校に至るまでの経過を把握するため、保護者との面談や家庭訪問を実施する。その際、養護教諭は必ず同席・同行する。
3　保健室利用状況調査（平成28年）によると、保健室登校の開始月は、小学校・中学校・高等学校ともに５月が最も多かった。
4　保健室利用状況調査（平成28年）によると、保健室登校の開始学年は、中学校・高等学校ともに第２学年が多かった。
5　児童生徒によっては、受容的な面接を通じて自然に再登校の意欲がわくまで待つという対応が、かえって再登校の機会を遠ざける場合があることに注意する必要がある。

（2）「子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に－」（平成22年７月　文部科学省）の「第２章　子どもの心のケアの体制づくり、１　心のケアの体制づくり　（４）心の健康問題の対応における教職員等の役割」に示されている養護教諭の役割のポイントに関する記述の一部である。最も適切なものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

1　メンタルヘルスの理解と対応に関する校内研修を実施する。
2　学校ではどこまで対応できるのか見立てを明確にする。
3　問題のある子どもだけでなく、すべての子どもについて理解するよう努める。
4　教職員へのコンサルテーションを行う。
5　学校と地域の医療機関等とのつなぎ役になる。

（3）「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」（令和２年６月改訂版　文部科学省）の「対応編１　日頃の観察から通告まで　１　通告までの流れ」に関する記述の一部である。①～⑤の正誤について、最も適切な組合せを、下の１～６のうちから一つ選べ。

① 不登校や非行、いじめ、自殺等の問題は、いわば顕在化した現象面の問題であるが、これらの背景として、虐待が要因となっている可能性もあることに留意する。
② ＤＶの問題がある家庭で子供が育つことは身体的虐待として対応する。
③ 児童相談所等は重大事案については通告から数時間で一時保護に係る一連の手続をとりたいと考えており、幼児児童生徒が在校・在園している時間帯での対応が重要となる。
④ 虐待の確証を探し切ることまで学校には求められている。
⑤ 外傷（打撲傷、あざ（内出血）、骨折、刺傷、やけどなど様々）がある場合、養護教諭などが確認し、スケッチやメモで傷の状況を詳細に記録する。

1　①　正　②　正　③　誤　④　誤　⑤　正
2　①　誤　②　誤　③　正　④　正　⑤　誤
3　①　誤　②　正　③　誤　④　誤　⑤　誤
4　①　正　②　誤　③　正　④　誤　⑤　正
5　①　誤　②　正　③　正　④　正　⑤　正
6　①　正　②　誤　③　誤　④　正　⑤　誤

【9】学校保健計画、保健室経営計画について、次の（1）、（2）の問いに答えよ。

（1）「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－」（令和２年度改訂　日本学校保健会）の「第２章　調査結果から見た学校保健の課題とその対応　Ⅰ　学校保健計画及び学校安全計画　１　学校保健計画」に関する記述の一部である。下線部①～⑤について**誤っているもの**を、下の１～５のうちから一つ選べ。

1　学校保健計画は、児童生徒等や教職員の心身の健康課題を解決し、健康を保持増進するための計画であり、①年度の重点目標を立て評価・改善していくものである。
2　②養護教諭は、健康観察や健康診断結果などにより、児童生徒等の心身の健康課題を把握していることから、学校保健計画の策定には積極的に関わることが必要である。
3　学校保健計画の評価については、全体の③80％の学校で取組が行われておらず、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルを定着させることが必要である。
4　学校保健計画を作成するに当たっては、学校保健に関わる教育活動において、④教育課程の領域の特性、担当する組織等のバランスに配慮することが求められる。
5　学校の⑤学校保健の実態を把握し、学校保健に関する目標や活動の内容を設定するための情報の収集は、年間計画作成の第一歩である。

（2）「保健室経営計画作成の手引」（平成26年度改訂　日本学校保健会）の「2　保健室経営計画」に関する記述の一部である。文中の（　①　）～（　⑤　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の1～6から一つ選べ。

○　学校教育の基盤となる児童生徒の健康や安全を確保するには、全職員が相互に連携していくことが重要である。そのためには、（　①　）の保健室経営計画を立て児童生徒の心身の健康づくりを効果的に進めていくことが必要である。
○　保健室経営計画は、（　②　）計画を踏まえた上で、（　③　）が中心となって取り組む計画である。
○　保健室経営計画は、養護教諭の職務（役割）と保健室の（　④　）を踏まえた計画である。
○　保健室経営計画は、（　⑤　）年度計画である。

1　①　課題解決型　②　学校保健　③　養護教諭　④　機能　⑤　単
2　①　課題解決型　②　学級経営　③　養護教諭　④　実態　⑤　単
3　①　問題抽出型　②　学校保健　③　保健主事　④　実態　⑤　複数
4　①　問題抽出型　②　学級経営　③　養護教諭　④　機能　⑤　複数
5　①　課題解決型　②　学級経営　③　保健主事　④　実態　⑤　複数
6　①　問題抽出型　②　学校保健　③　保健主事　④　機能　⑤　単

【10】「JRC蘇生ガイドライン2020対応　赤十字救急法講習　15版」（日本赤十字社）の「資料　2　呼吸器系　（2）呼吸運動とその調節」に関する記述の一部である。文中の（　①　）～（　④　）に入る適語の組合せとして、最も適切なものを、下の1～6のうちから一つ選べ。

胸郭の運動を支配する命令は、（　①　）にある呼吸中枢から出て、胸髄から肋間神経を経て肋間筋に達します。横隔膜の運動を支配する命令は、呼吸中枢から出て、（　②　）から横隔神経を経て横隔膜に達します。胸部が広がり横隔膜が収縮すると、吸気が行われます。

空気は、呼吸運動によって気道を通って肺まで達し、空気と血液との間のガス交換は（　③　）で行われています。そこに到達するまでの鼻腔・口腔・咽頭・喉頭・気管・気管支などの気道にある空気は、ガス交換には使われず呼出されます。この部分を死腔といい、その死腔量は成人では約（　④　）mlです。

1　①　脊髄　②　腰髄　③　肺胞　④　150
2　①　脊髄　②　頸髄　③　胸膜腔　④　50
3　①　延髄　②　腰髄　③　肺胞　④　50
4　①　脊髄　②　頸髄　③　胸膜腔　④　150
5　①　延髄　②　腰髄　③　胸膜腔　④　50
6　①　延髄　②　頸髄　③　肺胞　④　150

【11】「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　日本学校保健会）の「資料編　児童生徒の主な心身の健康問題の解説」に示されている健康問題に関する記述の一部である。最も適切なものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

1　思春期早発症は、立ちくらみ失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛などの症状を伴い、思春期に好発する自律神経機能不全の一つである。

2　起立性調節障害は、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頚部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患である。

3　甲状腺機能低下症による症状には、一般的に、無気力、疲労感、むくみ、寒がり、体重増加、動作緩慢、記憶力低下、便秘などがある。

4　貧血とは、赤血球に含まれる血色素（ヘモグロビン）濃度が低下した状態で、もっとも多い貧血の種類は、溶血性貧血である。

5　ジャンパー膝は、脛骨粗面の骨端症である。ダッシュやジャンプにより牽引負荷が繰り返し加わることで、脛骨粗面の痛みとして発症する。

【12】「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」（平成29年３月　文部科学省）の「第２章　学校における児童生徒の課題解決の基本的な進め方」に関する記述の一部である。誤っているものを、下の１～５のうちから一つ選べ。

1　校内委員会におけるアセスメントにおいて、養護教諭は、分析をした結果を校内委員会でわかりやすく報告する。（出席状況や保健室利用状況などをグラフに表すなどの工夫をする）

2　支援方針・支援方法の検討において、養護教諭は、健康面の支援については、専門性を生かし、具体的な手法や長期目標、短期目標等について助言する。

3　支援方針・支援方法が、児童生徒に対して、有効でありかつ実現可能か、教職員の役割分担が適切か、養護教諭の立場から判断する。

4　校内だけで解決することに固執せず、児童生徒の課題を解決することを第一の目標とする。

5　児童生徒の状況の変化について、改善している場合においてもその理由等を確認し、知見を蓄積していくことが他の児童生徒への支援等で生きてくる。

（これで問題はおわりです。）

専門試験

養護教諭　解答用紙

種目	試験区分・教科・年号		選考区分	受験番号				※
2	8	1						
専門	養護教諭							

（選考区分欄）
一般選考志望者……1
特別選考（Ⅰ）志望者…2

問題番号	【1】				【2】		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解答欄							

問題番号	【3】		【4】		【5】		
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)
解答欄							

問題番号	【6】	【7】						
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
解答欄								

問題番号	【8】			【9】		【10】	【11】	【12】
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)			
解答欄								

養護教諭　正解・配点

問題番号	【1】				【2】		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解答欄	1	4	5	2	3	2	6

【1】(2)(4)、【2】各3点　3点×5問＝15点
【1】(1)(3)各4点　4点×2問＝8点
計23点

問題番号	【3】		【4】		【5】		
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)
解答欄	3	1	4	4	2	5	3

【3】、【4】(2)、【5】(3)各3点　3点×4問＝12点
【4】(1)、【5】(1)(2)各5点　5点×3問＝15点
計27点

問題番号	【6】	【7】						
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
解答欄	2	6	1	2	4	5	3	2

【6】、【7】(1)～(5)(7)各3点　3点×7問＝21点
【7】(6)4点　4点×1問＝4点
計25点

問題番号	【8】			【9】		【10】	【11】	【12】
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)			
解答欄	5	2	4	3	1	6	3	3

【8】、【9】、【11】、【12】各3点　3点×7問＝21点
【10】4点　4点×1問＝4点
計25点

合計100点